

・毎年の授業の様子を検討した結果から。

大切にしたい力: 友達のよさを認め合いながら思いや意図をもって表現していく力

下石神井地域の子どもたちに身に付けさせたい力

学習期	内容	徹底事項	内容項目	身に付けさせたい力		具体的な曲名とめあて	カリキュラム改善の視点
				共通事項			
I期	小学校 第1学年	基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。	A表現 (2)イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。	器楽 楽曲の気分を感じとり、それを表現に生かし、思いをもって演奏する力。	ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れ、フレーズ イ) 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	「まほうのど」…4種の伴奏の雰囲気やイメージに合わせて多様な表現を実感させる。 「すずめがちゅん」…それぞれの動物にふさわしい速さ、音の高さ、音の長さなどで演奏する。 「おもちゃのチャチャチャ」…歌詞の表す情景を思い浮かべ、言葉とリズムの関わりを意識しながら、表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願いを持つ。	◎各学年に応じた技能を身に付けさせる。 ◎習い始めの楽器では、教員の伴奏に合わせてイメージをもちながら演奏を行う。 ◆思いや意図をもって表現するために◆ ○常時活動を取り入れる。身に付けさせたい技能の練習を短時間で行う。(もう少しやりたいと思わせるくらい。) ・指番号の確認 ・階名で歌う(ドレミ) ・リズム打ち(模倣や板書を見て) ・拍子感の習得(身体を使って) ◆友達のよさを認め合うために◆ ・子供たち同士で見合う。(二人組、小グループ、伝言ゲーム風) ・グループ活動を取り入れる。(アンサンブル) ・安心して表現できる雰囲気をつくる。 ・一人で表現する場面を増やす。
	第2学年					「もりのたんけんたい」…歌に合う音色を聴き取り、イメージに合う楽器で表現の工夫をして演奏する。 「ごぎつね」…反復を生かし、速度や強弱を工夫して、情景を音楽で表す。 「おしゃべり音楽時計」…音の重なりや面白さを感じ取り、表現を工夫して時計の音楽を作る。	
	第3学年	基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。	A表現 (2)イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。	器楽 曲想を感じとり、それを表現に生かし、思いや意図をもって演奏する力。	イ) 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	「にじ色のふうせん」…様々な伴奏を聴きながら、リコーダーの美しい響きを味わう。 「まほうのチャチャチャ」…リズムや旋律の反復や重なりや楽しさを感じて演奏したり聴いたりする。 「聖者の行進」…パートの役割を理解し、旋律の流れや音の重なりを生かして演奏する。	
	第4学年					「ハローサミング」「もののけ姫」…曲のイメージに合ったリコーダーの音色を生かした二重奏 「ラ・クンパルシータ」…旋律の掛け合いやパートの役割を生かしたグループアンサンブル 「魔法のすず」…パートに合う楽器を選んだり、音色の組み合わせを工夫したりしながら、アンサンブルを楽しむ。	
II期	第5学年	基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。	A表現 (2)イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。	器楽 表現を工夫する手掛かりを音楽を形作っている要素やそれらの働きに求める力。	和声の響き	「こぎょうの人々」…低音や和音の響きを感じながら、イメージに合った伴奏形の工夫をする。 「星笛」…旋律のかけ合いや音の重なりを感じながら、曲のイメージに合う表現を工夫する。 「風とケーナのロマンス」…曲想を生かした表現を求め、グループで互いの考えや思いを出し合い、演奏を工夫する。 「ゴジラ」「ルパン三世のテーマ」…音楽を形づくっている要素のはたらきや、曲想の変化を感じ取り、友達とそれらを生かした表現の工夫をしながら演奏する。	◎集団指導の中にも、機動的に個別補充指導を行い、生徒同士の異なる個性を意識させる。 ◆思いや意図をもって表現するために◆ ○授業の導入では必ず体操や頭声発声の練習を行い、美しい発声を心掛けさせる。○調に応じて移動ド唱法による階名を書き込んだ楽譜を用意し、階名唱により相対的な音感を養う。
	第6学年					「マルセリーノの歌」…旋律や和音から長調や短調の響きの変化を感じ取って演奏する。 「カノン」…旋律の動きや重なりを聴き合ってグループごとにアンサンブルを楽しむ。 「スワンダフル」…スウィングのリズムの特徴に合った表現の工夫を楽しむ。 「越天楽今様」…雅楽に近い表現の工夫を試し合奏する。	
III期	中学校 第1学年	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	A表現 (2)ア 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。	歌唱・器楽 歌詞の内容やテクスチャ(音の重なりなど)の働きがもたらすハーモニーの美しさを感じ取り、それらが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する力。	イ) 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語 拍、拍子、間、序破急、フレーズ、音階、調、和音、動機、 Andante/Moderato/Allegro/rit./a tempo/accel./legato/dim./D.C./D.S./	「マイバラード」…歌詞の内容やハーモニーを味わい、その言葉や曲想を聞き手に届けるような歌い方を工夫する。 「アメーzing・グレイス他」…テクスチャの働きがもたらすハーモニーの美しさを感じ取る。 「Let's Create!」…音楽の諸要素の働きを生かした創作をする。	◆2年◆ 「時の旅人」…歌詞の内容やユニゾンや和声的・多声的な音の重なりを理解し、その言葉や曲想を聞き手に届けるような歌い方を工夫する。 「大きな古時計他」…ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。 「Let's Create!」…アンサンブルの素材となる言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対照などの構成を理解して表現を工夫する。 ◆3年◆ 「花、早春賦他」…楽曲の特徴や音楽を形づくっている要素を知覚し、それにふさわしい発声や歌い方を工夫し、曲想や魅力を生かして歌唱表現をする。 「赤とんぼ、木星」…音楽を形づくっている要素との関わりを理解し、楽器を使って表現する。 「Let's Create!」…リズムパターンを組み合わせる演奏したり、全体のまとまりを工夫しながら音楽を構成する。
	中学校 第2学年					多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。	
中学校 第3学年							